

第50回 沖縄県公衆衛生学会

平成30年11月2日(金) 場所 沖縄県市町村自治会館

9:20 ~ 11:00 学術集会 (各発表10分)

≪第1会場≫ 9時20分～10時35分	【こころの健康】	・不登校や引き籠りといった「病氣」の治療について ・うつ予防を目指した集団認知行動療法による回復プログラム - 初発気分障害と二次的気分障害の回復状況の比較と課題 -	又吉正治 (まぶい分析学研究会) 仲本晴男 (田崎病院)
	【成人保健】	・術後大腸がん患者の罹患症状の認識と相談・情報収集の現状 ・ポリピアにおける沖縄県系移民の健診結果と生活習慣について - 沖縄県民との比較 -	宇地原大海 (沖縄県立看護大学 大学院博士後期課程) 宮里裕子 (名桜大学大学院 国際文化研究科 健康科学教育研究領域)
	【多職種連携】	・障害者雇用の重要性 - 精神障害者雇用に至るまでの視点 - ・ALS患者のコミュニケーション支援における課題の検討	近藤功行 (沖縄キリスト教学院大学 ・沖縄キリスト教大学院) 水野創 (南部保健所)
	【高齢者福祉】	・高齢者のアンケート調査からみた幸福度に関する2～3の知見について	高平兼司 (一般財団法人 沖縄県公衆衛生協会)

≪第2会場≫ 9時20分～11時00分	【感染症】	・南部保健所管内における麻しん対策等に関するアンケート調査結果 ・2018年春の沖縄県内麻しん流行における北部保健所管内の特徴と課題～北部地域が人口あたり麻しん事例が多かった背景に関する考察～ ・2018年春の沖縄県内麻しん流行における北部保健所管内の特徴と課題～北部地域における病院と診療所の対応～	豊川貴生 (沖縄県南部保健所) 知花香織 (北部保健所) 伊礼壬紀夫 (北部保健所)
	【健康教育】	・沖縄県北部A村における女性の月経に関する受容の三世代比較 ・沖縄県Y町の小学生とその母親における随時尿より推定した食塩・カリウム摂取量の実態	矢貫柚衣 (名桜大学大学院 国際文化研究科 健康科学教育研究領域) 伊藤早苗 (琉球大学 熱帯生物圏研究センター)
	【ヘルスプロモーション】	・沖縄県那覇市A地区住民における身体活動と近隣環境との連携 ・沖縄県在住の成人にアクティブ・カウチポット現象は起こりうるのか? : ゆい健康プロジェクト	真栄里裕希 (どりーむ 訪問看護ステーション) 神谷義人 (名桜大学 人間健康学部 スポーツ健康学科)
	【環境保健】	・錠剤粉碎方法による調剤時の調剤室内の清浄度の変化 ・食品としての沖縄島沿岸・河川水生生物中の有害化学物質	玉城武範 (有限会社くすりのミドリ ミドリ薬局) 田代豊 (名桜大学国際学群)

11:10 ~ 12:10 学会長講演

沖縄公衆衛生(学会)の50年とこれから

— 食育とヘルスリテラシーから沖縄の健康格差を考える —

等々力 英美 氏 (放送大学沖縄学習センター 客員教授
琉球大学地域連携推進機構 客員准教授)



主催：一般財団法人 沖縄県公衆衛生協会

【お問合せ】 〒901-1202 沖縄県南城市大里字大里 2013 番地 一般財団法人 沖縄県公衆衛生協会内 学会事務局 (担当：大城)
Tel : 098-945-2686 Fax : 098-945-3973 E-mail : oshiro@koeikyo.com URL : http://www.koeikyo.com/